

【奨励賞】

「これからの北方領土」

北海道教育大学附属釧路中学校

2年 山崎 光

北方領土。それはいまだに日本に返還されていない日本固有の領土だ。僕が北海道で過ごしている中で、度々耳に入ってくるこの北方領土問題。僕は、このことについて詳しくは知らなかったので、北方領土問題について調べて考えてみました。

まず、なぜこんなにも長く問題が続いてしまっているのか。それは、日本が四島返還を目指していることと、ロシアと日本の意見の食い違いが起ってしまっていることにあります。四島返還についてですが、様々な人が四島は難しいと行っており、四島一括返還をこのまま言い続けていると一向にらちがあかないと思います。僕は、四島一括返還ではなく、一島だけ、二島だけでも返還してもらだけでも価値があると思います。仮に、最終的には一島しか返還されなくても、元島民の方には申し訳ないとは思いますが、全然良いと思います。この問題を解決していく上で、このまま踏み止まり続けるより、少しずつでも返還してもらい、解決への道をたどる方が良いと思います。一步ずつ、ゆっくりでも良い。地道にでも解決していくことに、意味や価値があると僕は思います。

次に、意見の食い違いについてです。例えば、先に住み着いたのは日本だ、ロシアだなどの歴史的権利がどちらの国にあるかがあげられます。僕は、このことについてはよくわかりませんが、正直、昔のことについて争うのはあまり良いことだとは思いません。大事なものは、今とこれからのことについてです。仮に、どちらかが昔のことで正しかったとしても、問題は解決しないと思います。これからロシアとどうありたいか。北方領土は、ロシアと日本両国共にどういう場所でありたいか、もし北方領土が返還されたとして日本はそれをどうしていきたいかなど、これからのことを考えていくうちに、ロシアと意見が合うことがあるかもしれませんし、問題解決に少しずつでも近づいていくと思います。後ろを向かず、前を向き、目の前のことに注目して考えることで新たな気づきが生まれ、この問題を良い方向に引っ張っていけると思います。

最後に、僕は、北方領土をロシアとの関係を友好的に深められる共通の場所にできれば良いと思っています。日本人とロシアの方を北方領土に自由に行き来できるようにし、共に歩いていく。これが僕の理想の北方領土です。難しいことかもしれないけれど、ロシアと日本を繋ぐ共通の領土にしてほしいと思います。もしそうなったとして、他に問題ができてもお互いに分かり合うことができれば大丈夫だと思います。

元島民の方たちのためにも、自分にでも協力できることはしていきたいと思っています。そして、一刻でも早く問題が解決されるよう僕は願っています。